

平成21年度 リンゴ関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成21年度リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成22年2月3日(水)にホテルメトロポリタン盛岡において開催された。

この検討会には、試験場関係者23名、委託関係者16名ほか、計47名の参集を得て、除草剤2薬剤(4点)、生育調

節剤7薬剤(36点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成21年度 リンゴ関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

注)アグーライは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
1. AH-01液 グリホサートPナトリウム塩 :11.5% [明治製菓、北興化学 工業]	リンゴ	適用性 継続	千葉大学園芸 (ふじ) 秋田県試 (秋田紅あかり等) (2)	[多年生雑草;スギナ] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・750mL<100, 150> 1000mL<100> ・茎葉処理 ・展着剤不要 ・対)ハース液 750mL<100>	実	実) [リンゴ]: 一年生雑草、多年生 雑草、スギナ ・春～夏期、雑草生育期 (草丈30cm以下) ・一年生雑草対象; 300～500mL/10a <100～150L/10a> 多年生雑草対象; 500～1000mL/10a <100～150L/10a> スギナ対象; 750～1000mL/10a <100～150L/10a> ・茎葉処理
2. NC-622液 グリホサートカリウム塩 48% [日産化学工業]	リンゴ	適用性 継続	北海道中央農試 (つがる) 植調北海道 (つがる、昂林) (2)	[多年生雑草] ・春期及び夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) ・500mL<25, 100> 1000mL<25> ・茎葉処理 ・展着剤不要 対)ラウンドアップハイポート液 500mL<50>	実 (従来ど おり)	実) [リンゴ]: 一年生雑草、多年生雑 草 ・一年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 茎葉処理 200～500mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズル使用) ・多年生雑草対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 茎葉処理 500～1000mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズル使用) ・スギナ対象; 春～夏期 雑草生育期(草丈30cm以下) 茎葉処理 1500～2000mL<25～100L>/10a (25～50Lは専用ノズル使用)

B. 生育調節剤

(注) アナログは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL/水量 L/10a ・ 処理方法	判定	判定内容
1. AF-3くん蒸成型 1-メチルシクロプロピルベンゼン: 6.28mg/gram (1tablet 1.25gに a.i. 7.85mg含有) [三井物産、アグロレッシュ ユイナ]	リンゴ (シヨナ コールド)	適用性 継続	青森りんご研 秋田果試 山形農研園試 石川農総研 岐阜中山間 (5)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1000ppb (1個/3.2㎡) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件 で24時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷用箱 に入れる→収穫用コンテナまたは出荷 用箱ごと、パレット(容積3.5㎡)に 入れ、所定量の製剤を置く→直ちに 密閉し24時間以上静置(暴露処理) →開封する→収穫用コンテナまたは出 荷箱に入れたまま室温で保存	実・ 継	実) [リンゴ(シヨナコールド); 収 穫果実の貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) ・ 1000ppb ・ 製剤から発生する気体に密 閉条件で24時間暴露 継) ・ 効果、薬害の確認 (つがる、ふじ、秋陽)
	リンゴ (つがる)	適用性 新規	石川農研能登 岐阜中山間(自主) (2)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1000ppb (1個/3.2㎡) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件 で24時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷用箱 に入れる→収穫用コンテナまたは出荷 用箱ごと、パレット(容積3.5㎡)に 入れ、所定量の製剤を置く→直ちに 密閉し24時間以上静置(暴露処理) →開封する→収穫用コンテナまたは出 荷箱に入れたまま室温で保存		
	リンゴ (ふじ)	適用性 新規	青森りんご研 宮城園研<中間> (2)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1000ppb (1個/3.2㎡) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件 で24時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷用箱 に入れる→収穫用コンテナまたは出荷 用箱ごと、パレット(容積3.5㎡)に 入れ、所定量の製剤を置く→直ちに 密閉し24時間以上静置(暴露処理) →開封する→収穫用コンテナまたは出 荷箱に入れたまま室温で保存		
	リンゴ (秋陽)	適用性 自主	山形農研園試 (1)	[貯蔵性向上] ・ 収穫当日 (24時間以内) 密閉容器内処理→室温保存 1000ppb (1個/3.2㎡) ・ 製剤から発生する気体に密閉条件 で24時間以上暴露 処理方法) ・ 果実を収穫用コンテナまたは出荷用箱 に入れる→収穫用コンテナまたは出荷 用箱ごと、パレット(容積3.5㎡)に 入れ、所定量の製剤を置く→直ちに 密閉し24時間以上静置(暴露処理) →開封する→収穫用コンテナまたは出 荷箱に入れたまま室温で保存		

B. 生育調節剤

注) アグーライは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量 g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判定	判定内容
2. AKD-8086水和 ネノチオネート: 12.5%、 フェニトチオン: 25% [アグーカネショウ]	リンコ (早生系 ふじ)	適用性 継続	岩手農研 (1)	[果そう葉摘葉] ・ 収穫開始予定30日前 ・ 1000, 1500, 2000倍 ・ 立木全面散布 または枝別散布(十分量) ・ 展着剤を加用する (フーラボール1000倍)	継	継) ・ 効果、薬害の確認
3. AKD-8152水溶 1-ナフタレン酢酸ナトリウム: 4.4% [アグーカネショウ]	リンコ (ふじ)	適用性 継続	青森りんご研 山形農研園試 長野果試 (3)	[摘花] ①中心花満開1, 3, 5日後(1回) ②中心花満開1日後→3日後 (2回) ③中心花満開1日後→5日後 (2回) ④中心花満開3日後→5日後 (2回) ・ 3000, 4000倍 ・ 立木全面散布または 枝別散布 対) 石灰硫黄合剤	継	継) ・ 効果、薬害の確認
	リンコ	適用性 継続	山形農研園試 (つがる、秋陽) 長野果試(つがる) (2)	[収穫前落果防止] ・ 1回目: 収穫開始予定日21~14日前→2 回目: 1回目処理7~10日後 ・ 1000倍→1000倍 ・ 立木全面散布 または枝別散布 対) ・ ストップール 1000倍 2回 参) ・ AKD-8152 (本剤) 2000倍 2回	実	実) [リンコ; 収穫前落果防止] ・ 収穫開始予定日の21~7日 前 ・ 1000~2000倍 1回散布 <300~600L/10a> ・ 立木全面散布 ・ 収穫開始予定日の21~14日 前、及びその7~10日後 ・ 1000~2000倍 2回散布 <300~600L/10a> ・ 立木全面散布 参考) 効果が確認された品種; きおう、つがる、王林、紅玉、 陽光
4. AKD-8156水溶 1-ナフタレン酢酸ナトリウム : 4.4% [アグーカネショウ]	リンコ (ふじ)	適用性 継続	青森りんご研 青森り研県南 岩手農研 宮城園研 秋田果試 山形農研園試 (2:1件自主) 福島果試 富山農技果試 長野果試 (10)	[つる割れ防止] ・ 満開後7, 14, 21, 28, 35日 (1回) ・ 3000倍希釈 ・ 立木全面散布または 枝別散布	実・ 継	実) [リンコ(ふじ); つる割れ軽 減] ・ 満開20~30日後 ・ 3000倍希釈(十分量) ・ 立木全面散布 注) ・ 処理により果実肥大が抑 制される場合がある ・ 処理により葉の黄化や葉の しおれがみられる場合があ る ・ 樹勢の弱い樹での使用は避 ける 継) ・ 処理時期と散布回数につい て ・ 連年施用による樹体への影 響について ・ 樹勢の違いによる効果・薬害 の変動について
	リンコ (きお う)	適用性 継続	岩手農研 (1)	[つる割れ防止] ・ 満開後7, 14, 21, 28, 35日 (1回) ・ 3000倍希釈 ・ 立木全面散布または 枝別散布		
	リンコ (早生 系 ふじ)	適用性 新規	秋田果試 山形農研園試 (2)	[つる割れ防止] ・ 満開後7, 14, 21, 28, 35日 (1回) ・ 3000倍希釈 ・ 立木全面散布または 枝別散布		

B. 生育調節剤

注) アーライは新たに判定された部分

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判定	判定内容
5. CS-20H水和 イタコン酸:75% [白石カルシウム]	リンゴ	適用性 継続	青森りんご研 (つがる、ふじ) 岩手農研 (シヨナール、ふじ) 秋田果試(王林) (3)	[摘花] ・満開期(頂芽中心花満開2~3日後) →1回目の散布より2~3日後; 2回 ・200, 250, 300倍希釈 (十分量; 柱頭が濡れる程度) ・枝別散布 対) ・石灰硫黄合剤100倍2回散布 またはエコーキー100倍2回散布	継	継) ・効果、薬害の確認
6. MAE30β水和 リン酸カルシウム:77%、 レシチン:23% [丸尾カルシウム]	リンゴ	適用性 継続	岩手農研(さんさ) 秋田果試(さんさ) 長野果試 (シナスイト) (3)	[摘花] (反復処理; 2回) ・1回目: 頂芽中心花満開時に人工授 粉し、その翌日散布→2回目: 1回目 散布2~3日後 ・100倍→100倍, 150倍→150倍 ・立木全面散布または枝別散布 ・展着剤不要 対) 石灰硫黄合剤 100倍 エコーキー 100倍	継	実) [リンゴ: 摘花] ・満開日及びその2~3日後 ・100~150倍 2回散布 ・立木全面散布 注) 頂芽中心花満開(頂芽 中心花の7~8割が開花 した日)の翌日に使用す ると摘花効果が高い 参考) 効果が確認された品種: ふじ、シヨナール、つがる、さ んさ 継) ・年次変動の確認(さんさ)
7. RIC-S セオライト:72%、 ブドウ糖:16.4%、 窒素全量:0.8%、 水溶性リン酸:1.2%、 水溶性加里:0.2%、 水溶性苦土:1.3%、 水溶性鉄:0.1% [ロイヤルインターリース]	リンゴ	作用性 継続	山形農研園試 (ふじ) (1)	[凍霜害予防] ①開花10日前(1回) ・41.5, 83倍希釈(十分量) ②開花10日前および開花5日前 (2回) ・83倍希釈(十分量) ・立木全面散布 ・展着剤加用(パライン系) 1000倍希釈	—	(作用性)